



# 営農NEWS



## 半促成メロンの病害虫発生に注意しましょう

ハウス半促成メロン栽培では、これから果実収穫期まで、茎葉に発生する病害虫には十分な注意が必要です。

メロン栽培で生育の中～後期に発生してくる主な病害虫として、つる枯病、菌核病、うどんこ病、べと病、アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類、アザミウマ類などがあります。病害は、いずれも多湿条件や曇雨天が続くと多発生しやすい傾向ですが、うどんこ病では乾燥条件でも蔓延します。害虫類は、比較的高温や乾燥条件を好み、ハウス内や周辺に害虫の寄生植物や雑草があると、そこから移動してきて増殖します。

### 【防除対策のポイント】

- 1) 下葉や葉の込み合っている場所の葉裏などを丁寧に観察し、病害虫の早期発見に努めましょう。
- 2) 病害虫の発生を確認したら、必要に応じて早期に防除に努めてください。薬剤散布は、葉裏や下葉にもよくかかるよう丁寧に行うことが特に重要です。なお、**収穫前日数に十分注意して、薬剤を選択**してください。
- 3) ミツバチ交配の場合は、交配期が終わるまで、ミツバチへの影響日数（目安）に十分注意が必要です。
- 4) 薬剤耐性菌や抵抗性害虫の発生を抑制するため、分類（コード）の異なる薬剤でローテーション散布してください。

表1 メロン つる枯病、菌核病、うどんこ病、べと病、斑点細菌病の主な防除薬剤（平成 30 年 3 月 26 日現在）

対象病害					薬剤名	希釈倍数	使用時期／使用回数	分類 (FRAC)	ミツバチ影響日数(目安)
つる枯病	菌核病	うどんこ病	べと病	斑点細菌病					
○	○	○			ベルコートフロアブル	1,000 倍	収穫前日まで／5回以内	M7	○
○			○	○	ジマンダイセン水和剤	400～600 倍	収穫7日前まで／5回以内	M3	1日
		○			ダコニール1000	700 倍	収穫3日前まで／5回以内	M5	○
			○			700～1,000 倍			
○			○		プロポーズ顆粒水和剤	1,000 倍	収穫3日前まで／5回以内	40 と M5	1日
○	○				カンタドライフロアブル	1,000～1,500 倍	収穫前日まで／3回以内	7	○
	○				スマレックス水和剤	2,000 倍	収穫前日まで／3回以内	2	1日
	○				セイビアフロアブル20	1,000 倍	収穫前日まで／3回以内	12	○
		○			フルピカフロアブル	2,000～3,000 倍	収穫前日まで／4回以内	9	1日
		○			ガッテン乳剤	5,000 倍	収穫前日まで／2回以内	U13	○
		○		○	カスミンボルドー	1,000 倍	収穫3日前まで／5回以内	24 と M1	—

注1) 表中の分類欄には、FRAC または IRAC コードを記載しました。同一分類（コード）は作用点と同じなので、連用は避けてください。

表2 メロン アブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類の主な防除薬剤（平成 30 年 3 月 26 日現在）

対象害虫					薬剤名	希釈倍数	使用時期／使用回数	分類 (IRAC)	ミツバチ影響日数(目安)
アブラムシ類	ハダニ類	アザミウマ類	コナジラミ類	ハモグリバエ類					
○			○		ウララDF	2,000～4,000 倍	収穫前日まで／2回以内	29	○
○	○	○	○		モベントフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで／3回以内	23	1日
	○				マイトコーネフロアブル	1,000 倍	収穫前日まで／1回	20D	1日
		○ <sub>ミナミ</sub>			カスケード乳剤	2,000～4,000 倍	収穫7日前まで／3回以内	15	1日
			○ <sub>タバコ</sub>	○ <sub>トマト</sub>		2,000 倍			
		○			アフーム乳剤	1,000～2,000 倍	収穫前日まで／2回以内	6	2日
			○	○	ディアナSC	2,000 倍	収穫前日まで／2回以内	5	3日
		○				2,500～5,000 倍			
○	○		○		サンマイトフロアブル	1,000～1,500 倍	収穫3日前まで／2回以内	21A	4日
○		○			アドマイヤー顆粒水和剤	5,000～10,000 倍	収穫3日前まで／3回以内	4A	21日
			○			10,000 倍			

注1) ①表中の○ミナミはミナミキイロアザミウマ、○ミカンはミカンキイロアザミウマ、○タバコはタバココナジラミ類、○トマトはトマトハモグリバエで農薬登録されています。②ミツバチ影響日数（目安）は、29年版県防除指針から、1日は24時間影響あり、○は薬液が乾けば影響なし、—は掲載なし不明を表します。—印の農薬については、ラベルの注意事項をよく確認し、不明の点はメーカー等に問い合わせてください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040